

特別支援教育における「実践知」の創造・発信と 地域支援ネットワーク強化プロジェクト

— 講義やコンサルテーションを有効活用するシステムづくりを通して —

研究代表者：古井克憲（教育学部 特別支援教育）

共同者 教育学部 ： 江田裕介・武田鉄郎・山崎由可里・竹澤大史（特別支援教育）
： 菅道子・上野智子（音楽教育）

教職大学院：衣斐哲臣

障がい学生支援部門：森 麻友子

附属特別支援学校 ： 武内正晴

附属特別支援学校（附属小学校内通級指導教室担当）：尾崎由美子



はじめに

- 本事業は、和歌山大学から、特別支援教育における「実践知」の創造・発信を行い、地域支援ネットワークを強化することを目指して実施しました



①教職大学院・アドバンスプログラムの講義を「実践知」の創造の場とも捉え、教員・院生共同で「実践知」を創造、蓄積し、国内外で公表する。

教育・研究

特別支援教育における「実践知」の創造・発信と 地域支援ネットワーク強化プロジェクト

発信・還元

②ICT(Zoom等)を用いた特別支援教育コーディネーターフォーラムを開催、さらに地域主催の研修のサポートも行うことによって、地域支援ネットワークのさらなる強化を行う。

地域支援

③地域の学校現場、附属小学校における通級指導教室モデル事業へのコンサルテーション



①教員・院生共同での実践知の創造とそれを学会で発表すること

- 9月16日：ハノイ国家教育大学での院生交流会、
9月17日：ハノイ国家教育大学での国際学会
(いずれもオンライン開催)
にて、教員及び院生が計5本の発表を実施した



- 和歌山大学での研究を国際的に公表する貴重な機会となった



The Function of Special Schools as Local Special Education Centers in Japan”

- Katsunori Furui, Yoshiko Ueyama, Mari Takenaka, Hitomi Miyamoto, Tetsuro Takeda (下線は大学院生)
- 大学院科目「学校・学級経営（特別支援教育）」
 - ① 教員による講義：特別支援学校のセンター的機能（地域の小中学校等の支援などを行う）の理解
 - ② 教員による聞き取り調査課題の提示
 - ③ 院生が各自で聞き取り調査を実施、結果をまとめる
 - ④ 講義で院生による調査結果発表
 - ⑤ 院生・教員共同で「実践知」に関するディスカッション
 - ⑥ これまでの成果を論文にまとめ、国際学会で発表



②コーディネートフォーラムの配信

- Zoomでフォーラムを7回（第97回から103回）配信
- 延参加人数 442人
- 継続して参加してくださる出席者もみられる



- 本事業の目的である地域支援ネットワークの強化につながっており、オンラインでのフォーラムが地域にも定着した



表. 特別支援教育コーディネーター
フォーラムの出席者人数

	第97回 (4/21)	第98回 (5/26)	第99回 (6/23)	第100回 (8/24)	第101回 (9/29)	第102回 (10/27)	第103回 (11/24)	構成員別 合計
教 員	38	53	34	130	42	39	21	357
学 生	9	9	9	9	9	9	9	63
福 祉	2	2	3	1	3	2	2	15
その他	1	1	1	1	1	1	1	7
合 計	50	65	47	141	55	51	33	442



③地域の学校現場、附属小学校通級指導教室モデル事業へのコンサルテーション

- 特別支援教育学教室の教員5名が附属特別支援学校、和歌山県内の特別支援学校及び地域の学校、関連機関でのコンサルテーションを実施
- 武田教員を中心に、附属小学校での通級指導教室モデル事業へのコンサルテーションを打ち合わせを含めて4回実施



地域貢献とともに、地域の実情及び、今後必要とされる情報提供について学ぶことができた



本事業の総括

- これまでの約10年間の取り組みを基盤に、本事業も計画に沿って遂行することができた
- 昨年度に引き続き、コロナ禍であったものの、オンラインでのフォーラムを継続して開催することができたため、本学の卒業生・修了生の中で継続して参加している方もみられるようになった
- コンサルテーションも計画通りに進めることができ、今後の継続希望もあるため、地域のニーズに即した事業であると考えられる



- 地域貢献を視野に入れた実践的な教育課程改善のモデル例



今後の展望

- これからも和歌山県内で、特別支援教育におけるコンサルテーションをテーマに発信し続け、地域における情報ネットワークの構築と、和歌山県内の特別支援学校のセンター的機能の充実、より充実した特別支援教育コーディネーター養成等に貢献していけるようつとめる
- 本事業を継続して、附属小学校の通常の学級や通級指導教室へのコンサルテーション、サポートをより充実させていくこと
- 大学院の教育課程の中で、教育・研究、地域貢献を一体化して行うコーディネーターフォーラムをこれからも実施していけるように検討する。学部教育にも本事業の成果を還元できるか可能性を模索する



おわりに

- フォーラムにご参加いただいた皆様をはじめ、本事業に、ご理解・ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

ありがとうございました。

